



市町村のまちづくり

# 中心市街地の活性化に向けた取り組み

## —友部駅前・岩間駅前周辺の地域交流センター整備事業—

笠間市市民生活部市民活動課 係長 横須賀 学

### ■はじめに

笠間市は、笠間地区・友部地区・岩間地区の3つの既存市街地があり、JR常磐線とJR水戸線の各駅、そして笠間稲荷神社を中心に商店街が形成され街の賑わいを創出し、活性化が図られてきました。

そこで、本市においては、平成24年度に駅周辺地区の更なる発展に向け、都市的な位置付けと未利用公有地等における拠点整備の課題を整理し、今後の施策の基本方針を定めた「笠間市駅周辺整備活性化プラン」を策定しました。

### ■整備計画

「笠間市駅周辺整備活性化プラン」の策定に伴い、駅周辺の新たな整備や市有地の有効活用を図るため、整備期間をおおむね平成30年度と定め、地域交流センターの整備に向け「友部駅周辺地区」・「岩間駅周辺地区」を選定し、計画を作成しました。

#### 「友部駅周辺整備計画」

駅周辺は空き店舗が多いため、地域交流センターを整備し、多くの世代が行き交う賑わいの創出や市立病院などを整備し、市民福祉（医療・福祉・子育て）の増進、駅利用者および地域住民の利便性向上という視点で計画を進めました。



#### 「岩間駅周辺整備計画」

駅周辺は空き店舗が目立ち、商店街の賑わいが薄れつつあるため、健康増進機能やイベント広場を含めた地域交流センターを整備し、地域の活性化および岩間駅周辺と愛宕山をつなぐルートを軸として、利便性向上、観光客と地域の共用空間の創出という視点で計画を進めました。



### ■地域交流センター整備概要

本事業は、賑わいのある持続可能なまちを構築し、『文化交流都市』という笠間市の将来の実現を目指すため、各地区ともに市民会議を開催し、市民との意見交換など

協議を踏まえながら公募型プロポーザルによる設計を実施し、社会資本整備総合交付金を活用し、友部駅・岩間駅周辺に地域交流センターを整備しました。

### ■地域交流センターともべ（愛称：「トモオ」）

- ・所在地 : 笠間市友部駅前1番10号
- ・主要用途 : 交流センター（集会場）
- ・建築物構造 : 木造一部RC造
- ・敷地面積 : 5,665.20㎡
- ・建築面積 : 1,612.32㎡
- ・事業費 : 739,800千円（本体工事費のみ）
- ・開館 : 平成29年1月29日

愛称については、「友（tomo）」との交流を図る場所、そしてセンター機能の充実（more）を願い、tomo（トモ）+more（モア）で『トモア』としました。



市民や地域コミュニティ、市民活動団体の情報発信・交流、健康増進などの市民活動の交流拠点となる施設として、135席のマルチホールのほか、健康ルーム、会議室、調理室、カフェなどを備えています。

また、地中熱換気システムの導入により環境に配慮した施設で、笠間焼の陶壁や稲田みかげ石の床材などの地場産材を使用しています。

なお、屋外には青空市などの利用できる「まちのひろば」や駅利用者の利便性向上を図るため、自転車駐車場（256台）を設置しています。



## ■地域交流センターいわま（愛称：「あたご」）

- ・所在地 : 笠間市下郷4438番地7
- ・主要用途 : 交流センター（集会場）
- ・建築物構造 : 木造
- ・敷地面積 : 6,332.39㎡
- ・建築面積 : 1,263.68㎡
- ・事業費 : 498,960千円（本体工事費のみ）
- ・開館 : 平成29年12月9日

愛称については、本交流センターの南面に位置する「愛宕山」は、岩間地区の象徴であり、地域住民にとっての心の拠り所であり、愛着のある山並みです。本交流センターが、「自然の豊かさ」「この地に根付く文化」「歴史の故郷」として、今後、住民の誇りとなる拠点へと成長することを願い、『あたご』としました。



施設については、市民や地域コミュニティ、市民活動団体の情報発信・交流、健康増進などの市民活動の交流拠点のほか「愛宕山」への観光拠点となるよう「地域交流センターともべ」にはないシャワールームを設置しました。

また、屋外にはランニングコースや健康遊具、子ども用遊具を設置し、多世代の利用者が快適に過ごせる空間としました。



## ■施設の管理

施設の管理は、「指定管理者制度」を導入することで、民間事業者が持つ運営・管理のノウハウや経営手法の積極的な活用を進めています。

また、地域代表者、市民活動団体の関係者、学識経験者で協議会を設置し、施設の適正な運営管理を図っています。

## ■利用者実績（平成30年10月時点）

### 「地域交流センターともべ」（累計）

- ・施設利用団体 : 3,560団体
- ・施設利用者数 : 115,202人

### 《平成30年度》

- ・施設利用者数 年度目標60,000人  
実績41,656人（69.4%）

### 「地域交流センターいわま」（累計）

- ・施設利用団体 : 1,171団体
- ・施設利用者数 : 33,384人

### 《平成30年度》

- ・施設利用者数 年度目標33,600人  
実績21,421人（63.8%）

## ■利用形態

施設利用は、市民活動団体の会議・研修等に加え、各種団体主催のイベント、コンサート、フリーマーケット、などの交流促進、スクエアステップやヨガセラピー、フラダンスなどの健康増進、レンタサイクル、産地物販品の販売などを実施しています。

また、指定管理者による自主事業として、様々な活動を実施しています。

### 「地域交流センターともべ」

- ・キッチン Tomo'o によるカフェでの飲食提供
- ・駅前シネマ（毎週木曜日、1日4回上映）
- ・各種講座  
（トモアカル  
チャースク  
ール）
- ・激辛ヒーハー  
まつり開催



### 「地域交流センターいわま」

- ・「バザールde  
いわま」と  
の連携



## ■今後の展開について

地域交流センターの整備により、駅前活性化のきっかけができたことで、今後、利用促進に向け、指定管理者や関係団体とともに施設のPRやイベント開催など、更なる賑わいづくりに取り組んでまいります。

